

# 林業・木造建築のスペシャリストへの道 高知県立林業大学校 令和6年度 研修生募集

## 基礎課程 定員24名

林業技術や林業機械の操作、森林整備の開設など、フィールドワークが約7割を占め、即戦力となる人材を育成します。

取得できる修了証  
(技能講習・安全教育)

林業分野に就業する上で必要な下記の12の特別教育及び技能講習修了証を研修期間内に取得できます。

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 車両系建設機械運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 走行集材機運転業務特別教育修了証
- 伐木等機械運転業務特別教育修了証
- 簡易架線集材装置等運転業務特別教育修了証
- はい作業従事者安全教育修了証
- 機械集材装置運転業務特別教育修了証



## 専攻課程

定員30名  
(各コース10名)

大学教授や各分野の第一線で活躍する講師による充実した授業で最先端の技術や知識が身につきます。

### 森林施業のプランナーへ 森林管理コース

森林GISの活用方法や森林施業プラン書の作成技術などを習得した、林業経営の中核を担う人材を養成します。



### 林業現場のエキスパートへ 林業技術コース

高性能林業機械のメンテナンスや架線技術などを習得した、林業技術のエキスパートを養成します。



### 木造建築のプロフェッショナルへ 木造設計コース

国内でも数少ない木造に特化したカリキュラムにより、住宅から中大規模木造までプロデュースできる木造建築のスペシャリストを養成します。



年齢 18歳以上 (令和6年4月1日時点)

※森林管理コース、林業技術コースの年齢は19歳以上

研修期間 1年(1,200時間程度)

研修料 年額130,680円(税込)

※別途、教科書・安全用具・作業着などの購入費200,000円程度

### 支援制度も充実! 最大165万円(年間)を給付

高知県立林業大学校では、最大165万円(年間)の給付金を支給する支援制度を整備しており、安心して研修に専念することができます。

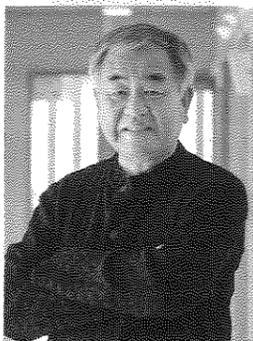
※給付金制度には支給要件があります。詳細については、お問い合わせいただくか、ホームページ「高知県立林業大学校の青年就業準備金給付金事業について」をご覧ください。

### 就職も全力でサポート! 就職率100%

就職についても研修生ひとり一人の希望に合わせてきめ細かな就職支援を実施。インターンシップによる職場体験なども積極的にを行い、全ての卒業生が、林業及び木造建築関係の仕事に就くことができました。

募集日程	推薦		申請期間：令和5年 8月28日(月)～9月25日(月)
			選考日：令和5年10月14日(土)
	一般	前期	申請期間：令和5年10月16日(月)～11月10日(金)
後期		申請期間：令和6年1月15日(月)～2月2日(金)	
			選考日：令和6年2月17日(土)

校長は  
世界的建築家  
**隈研吾氏!**



高知県立林業大学校 Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80 https://kochi-forestry.ac.jp E-mail:030208@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県立林業大学校 検索

フェイスブックもチェック! 研修の様子などを紹介します



# 林大の風

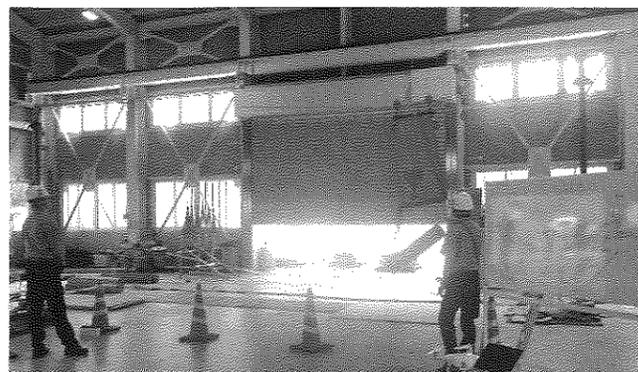
第36号 高知県立林業大学校

「オープンキャンパス」

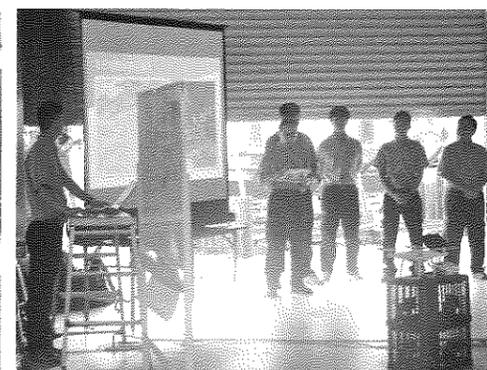
8月5日にオープンキャンパスを開催し、各地からたくさんのご参加をいただきました。当日は、林業大学校の概要説明から始まり、研修生による研修内容の実演を見学していただきました。

内容としては、木造設計コースを希望している方については、校舎内の見学やワークショップを行いました。その他の参加者については、林業大学校の実習棟と呼ばれる実習を行う施設にて、各課程・各コースの研修生による研修内容の実演を行いました。

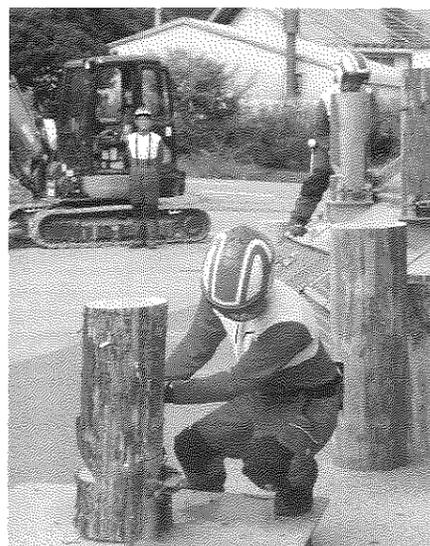
まず、林業技術コースでは、実習棟内にある架線シミュレー



ターを使用して、林業における架線作業(エンドレスタイプ)の実演を行いました。次に、森林管理コースでは、授業で学んだ内容を簡単に説明するとともに、ドローンやQGISなどで森林情報を管理する際に役立つツールの紹介を行いました。



最後に、基礎課程では、チェーンソーを使用した練習風景と林業機械の操作実演を見学していただきました。チェーンソーによる実演では、受け口や追い口を作製した後に、定規やレーザ



などを用いて、伐倒方向や定められた基準で作製できているかなどの計測についても見学していただきました。また、伐倒木の枝払い作業の練習風景やグラブルにおける材を掴む練習とフオワードへの積込みも見学していただきました。



研修生にとっても、自分達の学びを振り返る貴重な時間となりました。

今回、都合がつかず参加できなかった方は、エブリデイオープンキャンパスも実施しておりますので、事前予約のうえ、是非ご利用ください。